

## 令和5年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和5年9月14日（木曜日）			開会	9:56		会議場所	別海町議会 委員会室 2・3	
				閉会	11:27				
委員の出欠	3 番	高橋 眞結美	出席	6 番	宮越 正人	出席	9 番	小椋 哲也	出席
	10 番	外山 浩司	出席	13 番	中村 忠士	出席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉部次長兼保健センター長		福祉部次長兼町民課長	
		干場みゆき	出席	田村 康行	欠席	小川 信明	出席	谷村 将志	出席
		福祉課長		介護支援課長		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長	
		石戸谷 友絵	出席	高橋 勇樹	出席	渡辺 久利	出席	堀 留美	欠席
		地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長		町民課特命課長		福祉課主幹	
		九里 富恵	欠席	大道 詳子	欠席	上田 健一	出席	澤田 憲一	出席
		町民課主幹		保健課主幹		福祉課主査		介護支援課主査	
		西田 和弘	欠席	畠澤 みどり	欠席	大森 晴海	欠席	天神 幸子	出席
		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査		町民課主査	
		松本 静香	出席	井川 仁	欠席	岩光 理代子	欠席	小野 絵里	欠席
		町民課主査		保健課主査		保健課主査		保健課主査	
		木幡 友哉	欠席	山崎 さおり	欠席	對馬 恵子	欠席	佐伯 祐司	欠席
		保健課主査		老人保健施設主査		老人保健施設主査		税務課主査	
		成瀬 広子	欠席	中田 幸規	欠席	佐藤 裕美	欠席	伊藤 武史	欠席
	別海 病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務主幹		病院事務課主幹	
三戸 俊人		出席	椋木 直人	出席	奈良 司	出席	大森 圭介	出席	
委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名		
事務局職員	主幹	入田 浩明				合計	1名		
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

# 令和5年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

## 会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 10番 外山	13:30 開会
	出席委員5名、会期1日
委員長 10番 外山	挨拶
	【病院所管事務調査】
病院事務長 三戸	挨拶及び概要説明
	<p>・前回、お盆明けに陽性者が増えているという説明をしたが、やはり9月に入っても目に見えて減っているという状況ではなく、感染者も発生している。</p> <p>このような状況のため、引き続き、発熱外来、コロナ病床は、確保していかなければならない。</p> <p>しかし、医療が逼迫しているのも続いているので、入院患者さんの面会を解除したように、できるところから適宜、対応については縮小ということを考えて対応するしかないかなと思っている。</p>
委員長 10番 外山	議事1 所管事務調査
	(2) 医師等医療従事者の確保について
病院事務長 三戸	<p>・看護師については、本年4月に4名新規採用している。</p> <p>その後、7月と8月に正看護師1名をそれぞれ正職員という形で採用しており、9月には、会計年度職員を1名採用している。</p> <p>新年度に入り、看護師の退職者はいない状況なので、非常によかったかなと思ってるところだが、出産休暇、育児休暇を取られる看護師さんも一定数いるので、その関係で看護師の配置のやりくりにも苦慮しているところはある。</p> <p>逆を言うと、こういった時代に子供も増える、そして長く働いてもらえるってことを踏まえると、子供を産んで育てやすい環境ということなのかなというふうにも理解しているところ。</p> <p>この辺は、それぞれお互い協力しながら、今後もやっていければかなと思っている。</p> <p>放射線技師については、3月に定年退職した。</p> <p>募集も行っているところだが、なかなか面接に至っていないという状況が続いている。</p> <p>理学療法士については、本年4月に1名採用した。</p> <p>最後に医師の関係については、内科医の確保というところに至っていない。</p> <p>関係団体への要請等は行っており、本年4月にも副町長と北海道保健福祉部、地域医療振興財団、社団法人全国自治体病院協議会等の関係団体にも要請した。</p> <p>コロナが長く続き、医療従事者もそうだが、医師の負担というのも大きくなっているという状態が続いていることから、日直、当直の対応について、常勤医師の負担を軽減するために、去年から民間を活用しての日直、当直対応もやっている。</p> <p>普段の勤務状況が厳しい中で、全てをカバーしてるわけではないが、負担軽減の一助になっているのではないかと考えている。</p> <p>ワクチン接種の方も、2年以上続いているが、そちらの方も、今まで常勤医師を中心にやっていたが、昨年からのワクチン設置についても、民間を活用し医師を確保して対応している。</p>
委員長 10番 外山	質疑
委員 6番 宮越	<p>・内科医の先生がなかなか確保できないということだが、報酬を上げれば解決するのか、勤務条件なのか、何をクリアすれば確保できるというものはあるのか。</p>
病院事務長 三戸	<p>・民間業者に給与体系等を公開すれば手を挙げてくれると思うが、病院的にも誰でも</p>

## 令和5年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

	いいというわけではない。 今までも札幌医大と関係はあったが、そちらも充足しているわけではない。 中標津・根室が地域センターという扱いでそちらが優先。 町長・副町長には道の関係者、院長等には、個人的な繋がりで探してもらっている。
委員 9番 小椋	・出張医にかなり来てもらっているの、その辺に対しての動きはないのか。
病院事務長 三戸	・いろいろ病院間の関係もあるので、あからさまに勧誘はできない。
委員 9番 小椋	・組織同士での枠の確保、人によらない枠の確保は検討しているのか。
病院事務長 三戸	・現在は研修医どまりの状況で、組織同士は難しい。
議長 西原	・産婦人科の状況と出産の状況について。 奨学金を利用している人の進路状況と病院との関係は。
病院事務長 三戸	・産婦人科については、残念ながらコロナ病床で今も3床確保して、場合によっては、増やすような形で対応しているので、引き続き、出産の方は休止という状況が続いているので、解除する目途というのはついていない状況。 奨学金もらっている先生については、去年、一昨年ぐらいにワクチン接種を手伝っていただいたり、毎年御連絡して、つい先日も近況について連絡したところだが、大学院に進む目標もあるみたいで、こちらに出てくるっていうのはちょっと難しい。 いつというのはわからないが、いずれは別海に戻ってきたいという意向はある。
委員 9番 小椋	・放射線技師が2名体制で厳しいという話を聞いている。 募集しても来ないと聞いているが、どういう状況なのか。
病院事務長 三戸	・全体の数から言えば、余裕があるのかなと思うが、うちの病院への応募はない。 給与の面であったり、地理的な部分であったりっていうのが要因ののかなっていうふうに考えている。
委員 9番 小椋	・関連だが、中標津空港にHACがくるので、地理的不利な条件は多少解消されるのでは。 例えば札幌に家庭を持っていても、常勤医をして勤務し週末は家庭に帰るとしてもコストがかからずできるようになるのでは。
病院事務長 三戸	・たしかに、肝になるのは家族の問題になる。 進学や就職等の問題であったりというのが、総体的にネックになる。 ただ、HACについては、中標津病院の泌尿器科の医師の部分のみの無料化しか決まっていない。 議員言うとおり、単身赴任できている医師の無料化ができれば可能性が広がってくる。
委員 6番 宮越	・全国の自治体で医師の確保に関する成功例みたいなものはないのか。
病院事務長 三戸	・そういう情報は把握できてない。 医師不足や職員不足を解消した病院というのは全国的にはあるが、方法等はわかっていない。
委員長 10番 外山	・当直の関係だが、別海は病院内に泊まると聞いているが、病院の近くにある自宅で待機して対応しているところもあるが、取り決めはあるのか。
病院事務長 三戸	・基本的には、当直医は院内ということになる。
委員長 10番 外山	・他にあるか
委員 一同	・なし
委員長 10番 外山	挨拶
	病院 10:31 終了 休憩
	10:46 再開
委員長 10番 外山	挨拶

# 令和5年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

		【福祉部所管事務調査】
福祉部長	干場	挨拶及び概要説明
委員長	10番 外山	議事1 所管事務調査
介護支援課長	高橋	(1) 高齢者と障がい者の見守り活動について ・高齢者の見守り活動について資料により説明。 地域包括ケアシステムの推進については、地域包括支援センターを中心に進めており、高齢者及びその家族の方々が相談に来庁された際、地域包括支援センターを中心とし、ワンストップで対応する体制としている。 来庁が難しい場合などについては、自宅や入院先などを訪問し対応している。 老人クラブ活動の支援については、老人クラブ活動に対する運営費用の一部を助成している。 本町の老人クラブ団体数については、令和3年度から本年度まで18団体となっているが、令和3年度に比べ会員数は減少傾向にある。 ふれあい・いきいきサロン事業については、町内3圏域に設置し地域の人々とのふれあいを通して、生きがいづくり、閉じこもりの防止、寝たきり及び認知症の予防、心身機能の維持向上等、介護予防の推進を図ることを目的としている。 また、趣味や仕事、地域貢献などに意欲的な元気な高齢者アクティブシニアを増やし活躍できる環境づくりについても努めている。 敬老事業の推進については、それぞれの地域において、世代間の交流を図り、長年にわたる地域における活動に敬意を表すために開催される敬老会に対してその経費の一部を助成している。
委員長	10番 外山	質疑
委員	6番 宮越	・介護職員の充足率はどうなのか。
介護支援課長	高橋	・基準は満たしているが、シフトの関係で人が足りないという現実はある。 町内の事業所で介護支援専門員の数が少なく厳しい状況。 また、在宅サービスを受ける際に、訪問介護員の数も確保ができていない状況にあり、一部のサービスに時間を頂いている状況にある。
委員	13番 中村	・ふれあいいきいきサロン事業で西地区が他の地区と比べると人数が少ないが、原因は何かあるのか。
介護支援課長	高橋	・西が少ないというよりは、東と中央が増えた。 尾岱沼の施設やみなくなるが完成したことによるものだと考えている。
委員長	10番 外山	・認知症カフェとはどういうものなのか。 要介護3から5で何人くらいいるのか。
介護支援課長	高橋	・町内にあるグループホームで、その施設内でカフェを開催している。 現在は、コロナの関係で機能はしていないが、認知症の方が立ち寄っているいろいろな話をしたり、御家族の方、不安を抱えている方が気軽に立ち寄って話や相談ができる場所を提供している。 介護度の人数は、4年度末で要介護3が83名、4が65名、5が67名になっている。
委員	13番 中村	・生活支援福祉サービスで、セブンイレブンは協定を結んでいるがセイコーマートが結んでいない理由は。
介護支援課長	高橋	・特に理由はない。
委員	13番 中村	・話はしたが、協定は結ばないということか。
介護支援課長	高橋	・セイコーマートと話をしたという経緯はない。 セブンイレブン、コープさっぽろ等については、積極的な見守り活動ということで合致し

# 令和5年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

	<p>た。</p> <p>セイコーマートはどういう取組をしているかわからないが、今後案内については検討して行きたいと思う。</p>
委員長 10番 外山	・他にあるか
委員 一同	・なし
委員長 10番 外山	・次に、福祉課お願いします。
福祉課主幹 澤田	・障害者の見守り活動について資料により説明。
	<p>本町の障がい者の相談支援体制は、町福祉課が障がいに関わる各種相談対応を行っており、より専門的な相談対応するため社会福祉士等の専門職や、身体障がい当事者の職員をピアカウンセラーとして配置している。</p> <p>また、町内の障がい福祉サービス等を利用する際に必要となるサービス等利用計画等を作成する指定特定相談支援事業所、相談室一歩に相談支援事業を業務委託し、福祉課と同様に町内の相談に対応している。</p> <p>そのほか中標津町に事務所を置く根室圏域障がい者総合相談支援センターを、根室管内1市4町の広域で設置する障がい者基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点とし、専門職や拠点コーディネーターを配置して、町内はもとより管内や道内全域にわたるサービス調整等を行っており、町福祉課と町内の民間相談事業所、管内広域相談事業所により重層的に相談が受けられる体制整備を行っている。</p> <p>なお、自ら相談できない方などは、近隣住民や町内会、地域の身近な相談者である民生委員・児童委員等から得た情報を元に、関係機関と連携して情報収集や安否確認等を行い、必要な制度やサービス利用につなげている。</p> <p>障がい者等のスポーツ・文化活動等の振興については、第3期別海町障がい者計画では、スポーツ・文化活動等の振興の施策として、障がいのある人が気軽にスポーツ活動に参加できるよう各種イベント・スポーツ大会への参加の促進や文化施設等のバリアフリー化等を掲げている。</p> <p>また、令和4年度にオープンした別海町生涯学習センターみなくるでは、誰でも快適に利用できる施設を目指して、車いすやオストメイト対応のバリアフリートイレ、音声案内、補聴援助システムなどを設置し、障がいのある人が利用しやすい施設とすることで、今後様々な文化活動への参加が期待される。</p> <p>障がい者等の社会参加や交流の促進については、高齢者や障がい者、児童などが地域住民とともに集い、交流する地域のコミュニティ活動の場として NPO 法人スワンの家が実施する共生型地域福祉拠点事業では、共生サロンひだまりやまきこりホールを運営しており、民間団体や個人がサロンやホールを利用して、世代を問わない各種イベント等を開催している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により令和2年度から活動が減少傾向でしたが、令和4年度以降は徐々に回復している。</p>
委員長 10番 外山	質疑
委員 13番 中村	・相談支援体制の整備の部分で、自ら相談できない人への対応について、具体的にどんな形で対応しているのか。
	・何か地域の中で、困り事が発生しているとか、近隣住民から福祉課の方に寄せられ場合や民生委員の事務局という位置づけであるので、会議の際や電話連絡等で福祉課につないでいただく体制をとっている。
福祉課主幹 澤田	連絡を受けた際には、その方の年齢であったり、障害の状況であったり、世帯構成であったりというところで必要に応じて、地域包括支援センターや保健センター、病院、社

## 令和5年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

		会福祉協議会と連絡をとりながら、どのように関わっていくか協議して、必要な部署で対応をしていく体制をとっている。
委員	13番 中村	・わかりやすい方と引き籠ってしまったりしてわかりづらい方もいると思うが、月に1回連絡を取ったりとか何か対策はしているのか。
福祉課主幹	澤田	・タイミングを見計らいながら、必要な時に御家族から連絡をもらえる体制をとっている。
委員	13番 中村	・家族がいない場合は。
福祉課主幹	澤田	・民生委員とか地域町内会の方に見守りをさせていただいて、何かかかわる設定が見つけられたときに介入させていただくというような形にはしている。
委員	13番 中村	・みなくるの補聴援助システムについて具体的に。
福祉課主幹	澤田	・マイクを通したり、スピーカーから出る音を直接、その情報を補聴器で受け取れるようなシステムを使って、より聞き取りやすくするもの。
委員	13番 中村	・そのようなシステムを設置しているということではないか。
福祉課主幹	澤田	・はい。
委員	3番 高橋	・障がい者の移動について、活動の参加の場に行く手立てがなく、困っているという声はないのか。
福祉課主幹	澤田	・障害者の制度の中に、地域生活支援事業というのがあり、その中の移動支援がいわゆる障害者が社会参加のために支援するサービスになっている。 町内だと、ヘルパー事業所、社会福祉協議会が提供しているところで、車による送迎ができる。 公共交通機関が使える場合には、ハイヤー共通利用券を交付して使っていただく。
委員	6番 宮越	・根室管内1市4町の広域で設置する障がい者基幹相談支援センター等について、年間どれくらいの頻度でお願いしたりされたりしているのか。
福祉課主幹	澤田	・具体的な数字は、今は持っていない。
委員長	10番 外山	・他にあるか
委員	一同	・なし
委員長	10番 外山	閉会挨拶
		14:17 閉会